

科 目 名	子ども学演習					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	川 上 貴						
開 講 年 次	3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	この授業では、算数に関する子どもの学びの実態と課題など、算数教育を研究していくための基礎知識を深める。授業では、1) 文献資料の収集、2) 調査・実験、3) レポートの作成、4) 発表や討議、5) 子育て支援体験活動を行い、主体的な学習力の向上をめざす。子どもに関する知識や理解を深めるた、実地見学や観察、調査などの体験的学習を積極的に行う。なお、本演習は4年次開講「卒業演習」の基礎演習として位置づけられている。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 子どもや教育、保育に関する問題関心を深め探究することができる。 2) 論文や文献を読んでその内容や要旨をレジュメにまとめることができる。 3) 他の学生の報告を傾聴し、質問や意見を述べることができる。 4) 算数に関する日本の子どもの学びの実態と課題を理解し、特徴を説明することができる。 5) 上記の課題に対する解決の方向性について考えることができる。 6) 算数遊びに親しみ、その魅力を実演したり、伝えたりすることができる。 7) 子育て支援活動の意義を理解し、その企画・立案・実行を補助することができる。 8) これまでの学びを基礎に、卒論のテーマについて考えることができる。 9) インターネットを用いた文献調査の方法を習得する。 10) 教材開発、実態調査、授業実践など、卒論作成に必要な調査の方法を理解する。						
学 習 方 法	論文や文献の輪読、レポート作成、発表、討論、教科書分析、体験学習						
テキスト及 び参考書等	適宜プリント等を配布する						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎			40	
授業態度		◎	◎			15	
受講者の発表		◎	◎	○		30	
授業への参加度			◎			15	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
前 期	第1週	オリエンテーション (ゼミ・教員紹介、ゼミの配属方法についての説明)					
	第2週	研究室訪問 (選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出					
	第3週	算数・数学教育で大切なことは何か：テキストの紹介					
	第4週	文献輪読 (1) (算数の面白さとは何か)					
	第5週	文献輪読 (2) (いかにして算数の問題を解くか)					
	第6週	教科書分析の準備と分担					
	第7週	算数教科教科書の「数と計算」領域の分析 (1)					
	第8週	算数教科教科書の「数と計算」領域の分析 (2)					
	第9週	算数教科教科書の「量と測定」領域の分析 (1)					
	第10週	算数教科教科書の「量と測定」領域の分析 (2)					
	第11週	算数教科教科書の「図形」領域の分析 (1)					
	第12週	算数教科教科書の「図形」領域の分析 (2)					
	第13週	算数教科教科書の「数量関係」領域の分析 (1)					
	第14週	算数教科教科書の「数量関係」領域の分析 (2)					
	第15週	教科書の分析からみえる指導上の課題					
	第16週	前期のまとめ					
後 期	第1週	子育て支援と算数との係わりとその意義					
	第2週	身近にある算数ゲーム・パズル・ブロック					
	第3週	私が選んだ・考えた算数遊び					
	第4週	算数遊びの魅力と演じ方					
	第5週	算数遊びの実演					
	第6週	子育て支援活動の実際計画作成					
	第7週	子育て支援活動の実際					
	第8週	子育て支援活動 (子どもミュージアム) リハーサル					
	第9週	子育て支援活動 (子どもミュージアム)					
	第10週	卒論作成とはどのようなものか					
	第11週	卒論作成にむけて (1) 卒論の構成					
	第12週	卒論作成にむけて (2) テーマをどう選ぶか					
	第13週	卒論作成にむけて (3) 文献検索の方法と技術					
	第14週	卒論作成にむけて (4) 研究方法の紹介					
	第15週	まとめ					
	第16週						
備 考	授業計画の内容はあくまで予定であり、多少の変更が生じる場合があります。 本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」に参加します。 本授業の受講を希望される場合は、3年次前期開講「算数」および3年次後期開講「算数科指導法」も受講することが望ましいです。						